識雅夫，竹鼻三雄，○助川政之。角棒及び丸棒の面圧に依て生ずる應力分布を，直径，幅を種々に変えて其の影響を，変形の大きい寒天の模型に依つて実験的に求めた。

2—41. 木船外板縦縁補強に關する実験的研究　吉識雅夫，○竹鼻三夫。木船の外板縦縁を補強してこれに剪断力を受持たせ船体の撓みを減少させる方法について行つた実験の結果をまとめて報告する。

13 時 — 16 時

2—42. 深絞り能に及ぼす二，三の因子の影響について　麻田宏，○田中英八郎，小池吉藏。Al 円板の深絞り性に及ぼす，表面の影響。圧延條件の影響及び耳の影響についてのべる。

2—43. β 眞鍮の壓延構造について　麻田宏，○田中英八郎。特殊な方法で β 眞鍮を強圧延した時の圧延構造について述べる。

2—44. 船舶用輕合金の性能試驗　○麻田宏，田中英八郎。船舶構造に使用すべき輕合金の耐久性に関する諸性質の試驗結果の報告。

2—45. Al 板の壓延條件と深絞り耳との關係（第4報）　麻田宏，田中英八郎，○小池吉藏。99.99 % Al に Fe，Si を添加した時の各種圧延條件が深絞り耳と再結晶聚合組織に及ぼす影響を調べた。

2—46. Al 板の壓延條件と深絞り耳との關係（第5報）　麻田宏，田中英八郎，○小池吉藏。ブランクの円周方向圧縮應力の辷面上，辷方向への分解最大裁断應力を各種再結晶聚合組織に就いて求め，之と深絞り耳との関係を調べた。

2—47. 全鋼の疲勞について　○麻田宏，田中英八郎。全鋼の疲労後における，その形状，トルクの変化及び疲労試驗法についてのべる。

2—48. 亞鉛の再結晶について——主として二次再結晶について　和田次郎，○中村健吾。二次再結晶を起させた亞鉛の大結晶は多数の小結晶の集合体である事を見出した。その order は略々一次再結晶の grain size と同一である。之等小結晶の Etching pit による方位 Slip line，Zwin band の曲りについて二三の事実を報告する。△

2—49. 亞鉛の造塊法に關する研究（第1報）　亞鉛鑄塊の壓縮性能について　和田次郎，○中村健吾。Zn の平型鑄塊より試驗片を採取し，柱状晶と (1) 平行，(2) 45°，(3) 直角の方向に夫々圧縮荷重をかけ，此の場合の結晶方向と変形仕事量との関係について調べた。

2—50. 亞鉛の造塊法に關する研究（第2報）　亞亞鉛鑄塊の壓延性質について　和田次郎，○岩崎皓二。Zn の平型鑄塊と竪型鑄塊との圧延性質の難易について実験した結果，此の両鑄塊法の優劣について論じる。

2—51. 鑄造用亞鉛合金に關する研究（第4報）　Zn-Al 系合金に及ぼす第三元素の影響　和田次郎，○笹川雅信。Zn-Al 系合金の粒間腐蝕抑制剤としては Mg が使用されているが，Mg 以外に同様の效果を示す元素があるや否や調べた。その結果 Cu，Ca 等も有效であることが判つた。

2—52. パラトルエンスルフォアマイド樹脂に關する研究（第1報）　山古文之助，○大木喬，天野稔。パラトルエンスルフオアマイドと石炭酸及び尿素とのホルマリンによる共縮合によつて合成した樹脂の塗料原料としての應用性についてのべる。

2—53. アニオン交換樹脂の交換平衡の実驗式について　山口文之助，○服部浩彦。アニオン交換樹脂の交換平衡を一般に表示し得る様な実驗式を求め，それの成立性について検討した結果を述べる。

2—54. 石油高沸點溜分の粘度について　永井雄二郎，○高橋幹雄。国産原油，アラビヤ原油の二，三のものにつき，粘度，平均沸点，粘度溫度特性間の相関々係を調べた。

2—55. 鑛油に添加した各種金属石鹸が油膜强度に及ぼす影響　曾田範宗，山口裕之。市販ダイナモ油に種々の金属石鹸を添加した場合の油膜强度を四球式油性試驗機で測定比較した結果をのべる。

2—56. 玉軸受の油霧潤滑と油潤滑について　曾田範宗，○宮原儀芳。玉軸受の油霧潤滑（fog lubrication）に関する実験を行い，その溫度上昇をふつうの油潤滑の結果と比較した。

	第1日（11月9日，木）		第2日（11月10日，金）	
	9.00—12.00	13.00—16.00	9.00—12.00	13.00—16.00
第一会場	分析化学 蛋白化学	物理化学 電波 音響	物性論	
第二会場	粒体，粉体 流体工学	流体工学 化学工学 燃焼	材料力学 金属加工	冶金 樹脂 潤滑

This document is provided by JAXA.